

教科名 国語	学年 1 年	担当者 鎌田 優里 滝沢 季沙	使用教材 「国語 1」、「中学書写一二三年」（光村図書） 副教材 漢字ノート、国語便覧など
-----------	-----------	-----------------------	---

教科の目指す生徒像
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現しようとする生徒。

学習到達目標
（１）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
（２）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
（３）言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

主な学習内容
教科書を中心に様々な作品を通じて、「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」の育成を図る。また、言葉の特徴や使い方に関する事項(口語文法や漢字など)についても学習する。書写分野については、楷書と行書をそれぞれに合った目的や方法に従って書く学習をする。

授業の進め方
授業では、学習の目標を確認し、その目標が達成できるようにする。提示された課題に取り組み、思考力・判断力・表現力を育む。その取り組みの成果を仲間と共有、授業担当者がアドバイスや評価をする。これにより自分の学習を振り返り、理解や知識を定着させ、次の学習へと繋げるものとする。

観点別評価		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
定期テスト、漢字テスト、文法テスト、作文、発表活動、ノート・プリントの記述、発表の内容、など。		

※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。
 観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）
 A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満
 評定への総括：神奈川県的方式に従う

教材について
教科書、国語便覧、漢字ノート、積み上げプリント等使用します。

学習上の留意点
 ・授業を受けるにあたって必要なものを忘れずに、時間を守って取り組むこと。
 ・小テストや発表などの実施日やノート、プリント提出日をよく確認し、計画的に学習や準備を進めるようにすること。
 ・授業を欠席した際は、欠席した分の内容を必ず自分で補うようにすること。授業担当者や友達に相談すること。
 ・学習内容に関して分からないこと、学習方法の相談などは適宜、授業担当者に相談すること。

年間計画 2024 (令和6)年度 第1学年 教科：国語

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	言葉に出会うために 学びをひらく	ガイドンス／朝のリレー／野原うたう／シンシユン／情報を的確に 聞き取る／比較・分類／情報を整理して書こう／漢字の組み立てと 部首／漢字に親しもう 1
	5	新しい視点で	ダイコンは大きな根？／ちょっと立ち止まって／意見と根拠／話の 構成を工夫しよう／情報を集めよう／情報を読み取ろう／情報を引 用しよう／言葉のまとまりを考えよう
	6	言葉に立ち止まる	詩の世界／比喩で広がる言葉の世界／言葉を集めよう／指示する語 句と接続する語句【書写】漢字の筆使い
	7	読書生活を豊かに	読書を楽しむ／本の中の中学生／大人になれなかった弟たちに…… 【書写】暑中お見舞いを書く
	8	心の動き	星の花が降るころに／方言と共通語
	9		聞き上手になろう／項目を立てて書こう／読み手の立場に立つ／漢 字の音訓
	10	筋道を立てて	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ
後期	10	いにしえの心にふれる	いろは歌／古典の世界／蓬萊の玉の枝「竹取物語」から／今に生き る言葉／漢字に親しもう 3【書写】楷書に調和する仮名
	11	筋道を立てて	原因と結果／根拠を示して説明しよう／話し合いの展開を捉える 大阿蘇
	12	価値を見いだす	「不便」の価値を見直す／助言を自分の文章に生かそう／漢字に親 しもう 4／【書写】年賀状を書く
	1	読書に親しむ	考える人になろう／随筆二編／言葉の関係を考えよう／漢字に親し もう 5【書写】文字の大きさと配列
	2	自分を見つめる	少年の日の思い出／構成や描写を工夫して書こう／単語の性質を見 つけよう
	3		一年間の学びを振り返ろう／さくらははなびら／さまざまな表現技 法／漢字の成り立ち／漢字に親しもう 6

※進度によって予定が前後する可能性があります。

※社会情勢や学年実態などに合わせ題材を精選・追加し、学習していきます。

教科名 社会科	学年 1 学年	担当者 飯塚 秀樹 磯崎太朗 前田 将	使用教材 帝国書院「中学生の歴史」 「中学生の地理」 「中学校社会科地図」 創育・吉野教育図書「地理 基本用語集」 「歴史 基本用語集」 浜島書店「学び考える歴史」
教科の目指す生徒像 ・ 小学校での学習をより発展させるため積極的に発言を行い、社会的事象に関心を持つ。 ・ 自身の考えを深めると同時に、他者の考えを尊重し、2 年生に向けての自覚を持つことができる生徒。			
学習到達目標 ・ 世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、世界の諸地域に関する地理的認識を養う。 ・ 基礎的な知識を身につけるとともに、資料活用能力や論理的な思考能力を養う。			
主な学習内容 ・ 主にプリントを用いて、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力」の育成を図る。			
授業の進め方 ・ 前期は 3 クラスに分け、教科書の読み方、資料の読み取り方を中心に学習方法の定着を図る。 ・ 後期は学年全体での授業を行う。 ・ 地理・歴史ともにプリントを用いた授業を行う。 ・ クロームブック等を用いて、資料を活用したり、自ら調べ学習する。 ・ 仲間との話し合いや、意見を交流し多面的・多角的に考える。			
観点別評価			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して活用する。	社会的事象から、問題を見出し、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察する。	自ら設定した目標に対して自己調節しながら学習に取り組む。	
定期試験、提出物等			
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り） A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満 評定への総括：神奈川県のやり方に従う			
教材について ・ 教科書を中心にしつつも、各種資料の一つとして学習を進める。			
課題・提出物等について ・ 原則授業内で取り組み、提出を行う。			
長期休業中の課題について ・ 予定なし。			

年間計画 2024（令和6）年度 第1学年 教科：社会

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4 5	世界の姿 日本の姿	・クロームブックなどを用いて地球について理解する。その中で日本という国について理解し、日本の大枠を理解する。 ・世界の地域的特色を理解する。
	5 6 7	世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州	それぞれの地域について、地形・気候・産業・文化・課題などについて理解する。
後期	9 10 11 12	世界の諸地域 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州 歴史のとらえ方と調べ方 古代国家の成立と東アジア	・それぞれの地域について、地形・気候・産業・文化・課題などについて理解する。 ・歴史を学ぶための時代区分や年号などを知る。 ・人類がどのようにして生まれ、発展していったか理解する。世界の中でどのような地域から文明が広がっていったのか理解する。 ・日本における歴史の始まりを理解する。
	1 2 3	武家政権の成長と東アジア	・武士がどのような時代背景の中で生まれたのか理解する。 ・鎌倉幕府の成り立ち・組織構成について理解する。またなぜ元が攻めてきたのか、その結果鎌倉幕府にどのような影響をもたらしたのか理解する。 ・室町幕府の成り立ちについて理解する。

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 数学	学年 1 学年	担当者 山田智昭・清水理紗 竹内義昭	啓林館 「未来へひろがる数学1」 問題集：OKRA バラプリント
教科の目指す生徒像 数学的活動を通して、積極的に他者と関わり、教え合い、問題解決をしようとする生徒。			
学習到達目標 (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。 (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。			
主な学習内容 1 章：正の数・負の数 2 章：文字の式 3 章：方程式 4 章：変化と対応 5 章：平面図形 6 章：空間図形 7 章：データの活用			
授業の進め方 授業ではできるだけ教科書にそって進めていきます。基礎・基本が定着するよう、問題演習を多く取り入れていきます。また、生徒自らが考え問題解決していく内容も交えながら、数学的に説明し伝え合う場も設定していきます。			
観点別評価			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。	・数学的な活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	
定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど	定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テストなど	定期テスト、単元テスト、授業中のワークおよび小テスト、再テストなど	
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り） A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満 評定への総括：神奈川県的方式に従う			
◆定期テストの範囲について：これまでに行った学習の理解度をはかるため、万遍なく出題していきます。 ◆課題について：場合によっては、レポート等の提出があります。 ◆学習上の留意点：数学は積み重ねが重要となる教科です。毎授業の内容を、その日のうちに復習して次の授業に臨んでください。 ◇授業の持ち物：教科書・問題集を毎回準備してください。 後期に、コンパスを使用します。			

※進度によって予定が前後する可能性があります。

学期	月	単元名	主な活動
前期	4	ガイダンス	・学習のねらいと評価方法について確認する。
	5	1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数 ①0より小さい数 ②正の数・負の数で量を表すこと ③絶対値と数の大小 2節 正の数・負の数の計算 ①正の数・負の数の加法、減法 ②加法と減法の混じった計算 ③正の数・負の数の乗法、除法 ④乗法と除法の混じった計算 ⑤いろいろな計算 ⑥数の世界のひろがり と四則計算 3節 正の数・負の数の利用 ①正の数・負の数の利用 【移行用補助教材】素数の積で表すこと	・正の数と負の数の必要性和意味を理解している。 ・自然数や整数、正の数と負の数の大小関係、符号、絶対値の意味を理解している。 ・正の数と負の数の四則計算ができる。 ・正の数と負の数を用いることに関心をもち、様々な事象における変化や状況を表したり処理したりしている。 ・設定した目標値からの増減を調べ目標の達成状況を把握するなど、正の数と負の数を用いて様々な事象における変化や状況を捉えることができる。
	6	2章 文字の式 1節 文字を使った式 ①数量を文字で表すこと ②文字式の表し方 ③式の値 2節 文字式の計算 ①文字式の加法、減法 ②文字式と数の乗法、除法 ③関係を表す式	・文字を用いることに関心をもち、その必要性和意味を考えたり、文字を用いて式に表したり、式の意味を読み取ったりしようとしている。 ・一次式の加法と減法の計算の方法を、具体的な数の計算や日常生活の場面と関連付けて考えることができる。 ・簡単な一次式の加法と減法の計算ができる。 ・等号は計算の過程を表す記号としてだけではなく、相等関係を表す記号としても用いられることを理解している。
	7	3章 方程式 1節 方程式 ①方程式とその解 ②方程式の解き方 ③比と比例式 2節 方程式の利用 ①方程式の利用 ②比例式の利用	・方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ・一元一次方程式を活用することに関心をもち、問題の解決に生かそうとしている。 ・具体的な事象の中の数量の関係を捉え、一元一次方程式をつくることができる。 ・問題の中の数量やその関係を文字を用いた式で表し、それを基にしてつくった一元一次方程式を解くことができる。 ・簡単な比例式を解くことができる。
	9	4章 変化と対応 1節 関数 ①関数 2節 比例 ①比例の式 ②座標 ③比例のグラフ 3節 反比例 ①反比例の式 ②反比例のグラフ 4節 比例、反比例の利用 ①比例、反比例の利用	・関数関係に関心をもち、その関係を表やグラフなどで表したり、変化や対応の様子を捉えたりしようとしている。 ・具体的な事象の中にある二つの数量の関係を表した表やグラフなどを基にして、変化や対応の様子を捉え、説明し合う。 ・比例、反比例の関係を式で表すことができる。 ・比例、反比例の意味を理解している。 ・比例、反比例の関係を表、式、グラフなどで表すことができる。
後期	10	5章 平面図形 1節 直線図形と移動 ①直線と図形 ②図形の移動 2節 基本の作図 ①基本の作図 3節 円とおうぎ形 ①円とおうぎ形の性質 ②円とおうぎ形の計量	・基本的な作図に関心をもち、その方法を考えたり、問題の解決に生かしたりしようとしている。 ・角の二等分線などの基本的な作図の方法を、図形の対称性に着目したり、図形を決定する要素に着目したりして、見通しをもって考えることができる。 ・角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図ができる。 ・平行移動、対称移動及び回転移動の意味を理解している。
	11	6章 空間図形 1節 立体と空間図形 ①いろいろな立体 ②空間内の平面と直線 ③立体のいろいろな見方 2節 立体の表面積と体積 ①立体の表面積 ②立体の体積 ③球の計量	・空間図形における直線や平面に関心をもち、それらの位置関係について考えようとしている。 ・見取図、展開図、投影図を用いて、空間図形の性質を見いだすことができる。 ・柱体、錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 ・見取図、展開図、投影図に表す方法を理解している。
	12	7章 データの活用 1節 資料の傾向を調べよう ①度数分布 ②代表値と散らばり ③近似値 ④調べたことをまとめ、発表しよう 予備時間	・ヒストグラムや代表値、相対度数などに関心をもち、その必要性和意味を考えたり、資料を収集して整理したり、その傾向を読み取ったりしようとしている。 ・ヒストグラム、代表値、相対度数を基にして、資料の傾向を読み取ることができる。 ・資料の代表値を求めることができる。 ・近似値と誤差の意味や有効数字の意味を理解している。
	1		
	2		
	3		

教科名 理科	学年 1 学年	担当者 市川・高橋雅・矢内	使用教材 ・教科書 大日本図書「理科の世界①」 ・副教材 明治図書「よくわかる理科の学習 1」 ・資料集 逗子市教育研究総合センター 「逗子の自然」
-----------	------------	------------------	--

教科の目指す生徒像

- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている生徒。
- ・観察、実験などを行い、理科の見方や考え方を働かせて結果を分析、解釈し、科学的に探究できる生徒。
- ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする生徒。

学習到達目標

- (1) 解決すべき課題や問題について、観察・実験を計画、実行し、結果の整理、考察を行う一連の探究過程の見通しを持ち学習を行うことができる。また、その観察や実験をするための基本的な技能を身につける。
- (2) 観察や実験によって得られた結果を理科の見方、考え方をもちて分析、解釈し、表やグラフ、図などを効果的に用いながら表現できるようにする。その際、他者の考えとの有の中で、自らの考えを調整できるようになる。
- (3) 日常生活や社会において科学がどのように役立っているかを感じたり考えたりできるようになる。これを生かし、日常生活における問題を見いだして、科学的に探究、解決する態度を身に付ける。

主な学習内容

物理分野：身近な物理現象

生物分野：生物の世界

化学分野：物質のすがた

地学分野：大地の変化

授業の進め方

自然の事物・現象に関する問題や課題を見いだし、それを解決する観察や実験を立案、計画し、実践する。観察や実験を通して得られた結果を分析、解釈し、それをグラフや図などを利用して他者へ表現する。この一連の科学的に探究過程を通して、自然の事物・現象について理解を深めていく。各単元の最後には、自らの学びを振り返り、学んだことを日常生活につなげたり、問題を見いだしたりする中で、次の学習へとつなげていく。

観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

定期試験、単元テストや小テスト、課題レポート、授業プリント、発表等

観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）

A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満

評定への総括：神奈川県やり方に従う

教材について

基本的には教科書の流れにそって進めていきます。自ら進んで学んでいく上で、教科書は重要な情報源となります。毎回の授業で必要になりますので、大切に使いましょう。また、得た知識を活用したり復習したりするために副教材の問題集があります。授業中だけでなく、家庭での学習にも利用してください。

学習上の留意点

各自がその授業の「めあて」を意識して、それをクリアするように進んで自ら学んでいくことが大切です。特に観察や実験では、「なぜその観察、実験をするのか」、という目的や着目点を意識して取り組みましょう。

授業では他者と意見を交わしながら進めていくことが多くなります。自ら進んで学び、考えをしっかりと持つことを通して、他者との意見交流を通して、理解を深めていきましょう。

理科では4つの分野の間、そして各学年での学習内容の間につながりがあります。これまでに生活や学習で身に付けた知識を、次に学習する内容に関連付け、次の新しい気づきにつなげていきましょう。

年間計画 2024（令和6）年度 第1学年 教科：理科

学期	月	単元名		主な学習活動
前期	4 5 6	○生物の世界（学年授業） （1）身近な生物の観察 （2）植物のなかま （3）動物のなかま		・いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
	6 7 9	1-A ○物質のすがた （1）いろいろな物質 （2）気体の発生と性質 （3）物質の状態変化 （4）水溶液	1-B ○身近な物理現象 （1）光の性質 （2）音の性質 （3）力のはたらき	○物質のすがた ・身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた及び状態変化、水溶液のことを理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
後期	10 11 12	1-A ○身近な物理現象 （1）光の性質 （2）音の性質 （3）力のはたらき	1-B ○物質のすがた （1）いろいろな物質 （2）気体の発生と性質 （3）物質の状態変化 （4）水溶液	○身近な物理現象 ・身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。
	1 2 3	○大地の変化(学年授業) （1）火山 （2）地震 （3）地層 （4）大地の変動		・大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物、現象と関連付けながら理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名	音楽	学年	1 年	担当者	松井ゆかり	使用教材	中学生の音楽 1 中学生の器楽、アルトリコーダー
教科の目指す生徒像							
音楽を楽しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにすることのできる生徒。音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫して表現することのできる生徒。多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞することのできる生徒。							
学習到達目標							
1. 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。							
2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。							
3. 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていける態度を養う。							
主な学習内容							
・表現：歌唱〔発声の基礎、校歌、合唱〕・器楽〔アルトリコーダー奏、箏〕・創作〔リズム創作〕							
・鑑賞：映画音楽、「春」、「魔王」、箏曲など							
授業の進め方							
授業は50分間の中で歌唱・器楽・鑑賞を組み合わせで行います。さまざまな活動を通して表現する力や音楽への興味・関心を高めていきたいと思います。個々の課題に合わせ、個人や小グループでの練習も取り入れ、互いに認め合い、励まし合って声や音が出しやすい雰囲気づくりも大切にしています。							
観点別評価							
知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。		・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。			・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
ワークシート 単元テスト、実技テスト		学びのプラン ワークシート 単元テスト、実技テスト			学びのプラン ワークシート 活動観察		
※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。							
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り）							
A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満							
評定への総括：神奈川県的方式に従う							
◆単元テストの範囲について 定期テストとしては実施せず、単元テストを行います。 2 単元学習を目途に出題範囲を区切り、事前に通知します。							
◆課題・提出物等について 曲を鑑賞した際や単元が終わったときにワークシートやレポートを提出します。 期限を守り、求められた内容を満たすよう努力しましょう。							
◆学習上の留意点							

年間計画 令和6年度 第1学年 教科：音楽

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	オリエンテーション 沼間中 校歌	音楽科の学習について見通しを持つ。 沼間中学校の校歌を歌いながら、楽譜の見方や発声の基礎を身に付ける。
	5	イメージと音楽の関わり アルトリコーダー奏	映画音楽をきっかけにイメージをもたらす音楽の秘密を探りながら、曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 アルトリコーダーの基本的な奏法を身に付け、曲想に合った演奏をする。
	6	リズム創作 鑑賞曲「春」	音価を理解し、いろいろなリズムを表現しながら、拍子感を身に付ける。 音楽の表す情景を想像しながら、弦楽合奏の美しさを味わって聴く。
	7	混声3部合唱	混声3部のパートに分かれて、3部合唱の響きを作り出す楽しみを感じ取る。 歌詞や曲想に合った歌唱表現を創意工夫して歌う。
	9		
	10	鑑賞曲「魔王」	物語と音楽の関わりを感じ取り、曲のよさを評価しながら味わって聴く。
後期	10	「浜辺の歌」 「赤とんぼ」	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫する。
	11	鑑賞曲「六段の調」 箏「さくらさくら」	箏の音色や響きと奏法との関わりを感じ取り、それらを生かした表現を工夫して箏の演奏を行う。
	12		
	1	リコーダー合奏	二人または少人数でアルトリコーダーの合奏を行う。曲に合った演奏方法や創意工夫を考えながら演奏する。
	2	雅楽「越天楽」	日本古来の音楽に親しみ、背景となる文化や歴史との関わりについて学ぶ。
	3	混声3部合唱	学年のまとめとして、学んだことを生かしながら合唱活動に取り組む。

※進捗や感染症の状況によって予定が前後する、または内容を変更する可能性があります。

教科名 美術科	学年 Ⅰ	担当者 高井 明	使用教材 教科書Ⅰ 副教材：美術資料、材料
教科の目指す生徒像 ・楽しく美術の活動に主体的に取り組み、様々な表現を知り、受け入れることができる生徒。 ・生活や社会の中の美術や美術文化に興味・関心をもち、積極的に関わっていく意欲のある生徒。			
学習到達目標学習到達目標 (知)・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (思)・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (学)・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
主な学習内容 コラージュ・ポスターカラー作品・モダンテクニック・デッサン・キャラクターデザイン（平面・立体）・カトラリーづくり（工芸）・表現活動の参考作品や生徒作品の鑑賞			
授業の進め方（授業準備：準備は開始前に行い、忘れ物があるときは開始前に先生に相談する） ・初めに授業の「本時の目標」と「本時の内容」を確認し、自分の目標や計画を立ててから制作活動を開始します。 ・制作活動中も、他者の良さを吸収し、創意工夫を重ねていきましょう。 ・片付は終わり 10 分前に開始し、道具や制作途中作品を大切に扱い計画的に制作する習慣を身につけよう。			
観点別評価			
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	主体的に取り組む態度	
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
アイデアスケッチ、作品、小テスト、定期試験	アイデアスケッチ、作品、鑑賞文、小テスト、定期試験	授業への取り組み、プリントや作品への取り組み、アイデアスケッチ、作品、鑑賞文	
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り） A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満 評定への総括：神奈川県のやり方に従う			
定期試験について ・今年度は、一回のみ期試験は実施。その他題材ごとに必要に応じて、題材内容についての知識や自身の作品について記述する、小テスト等を実施します。 課題・提出物等について ・内容の必要条件と、期限を守ることが大切です。（欠席者にはできるかぎり補習で対応。） ・定期的にファイル提出を行います。ファイルに配布プリントがきちんととじられており、記入もれがないことをチェックします。 学習上の留意点 ・身の回りにある美術的なものや作品に関心をもち生活しよう。 ・他者の作品や参考作品、助言を参考に創作活動しよう。 教材について ・ポスターカラー（絵の具）・資料集・ファイル・教科書・筆記用具・鉛筆Ⅰ本（HB～2B） ※その他、授業によって必要な道具はお知らせします。			

年間計画 令和6年度 第1学年 美術科

学期	月	単元名	主な学習内容
前期	4	オリエンテーション	・年間の学習予定や次時の内容、授業のルール、評価の観点などの確認をする。
	4 ～ 5	色の基礎知識・ポスターカラーに慣れよう（平面）	・色の基礎的な知識を学び、絵の具で表現する。 ・ポスターカラーの特徴などを学び、ポスターカラーの取扱いや混色などができるようにする。
	5 ～ 7	コラージュ・モダンテクニック（平面）	・モダンテクニックの様々な技法を練習し、試しながら工夫して制作する。 ・コラージュを中心にモダンテクニックを使い、作品を制作する。
	9 ～ 10	キャラクターデザイン・水墨画（平面・デザイン）	・他者に伝えるためのデザインに興味・関心をもち、個々のテーマに合わせてキャラクターをデザインする。 ・墨での表現を学び、墨でキャラクターを描き完成させる。
後期	11 ～ 12	キャラクター制作（立体）	・デザイン画を元に、横から見た時の厚みなども考え、立体的に粘土で制作しポスターカラーで着彩する。 ・キャラクターのいる場面を設定し、背景を決めて写真を撮る。
	1 ～ 3	カトラリーづくり（工芸）	・木工を中心とした伝統工芸や生活で使える美術に興味・関心をもち、「使いやすく美しいカトラリー」をデザインし制作する。
	3	デッサン（平面）	・デッサンの基本である、「ものを観察する」ことを意識し、デッサンについて学ぶ。 ・制作したカトラリーをもち、「手と道具の異素材を意識しデッサン」する。

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 保健体育	学年 1 学年	担当者 岩本 賢三	使用教材 東京書籍 新しい保健体育 東京書籍 学習ノート 東京書籍 ビジュアル
教科の目指す生徒像 心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図ることのできる生徒。			
学習到達目標 (1) 運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身につけるようにする。 (2) 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。 (3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。			
主な学習内容 ・体づくり運動 ・陸上競技 ・器械運動 ・水泳 ・ダンス ・サッカー ・バドミントン ・バスケットボール ・柔道 ・バレーボール			
授業の進め方 ・適切な運動を行わせ、種目に合った体操・補強運動・ストレッチを班で考察・実行し、心身の調和的発達を図ります。 ・挨拶後、班長は点呼をして担当教諭に報告する。 ・授業はじめに説明する本日のねらいをよく聞き、仲間と協力しながら技能を高めていけるようにする。 ・学習カードの振り返りを忘れずに書くようにする。			
観点別評価			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特製に応じた基本的な技能を身につけている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に施行し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の運動の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	
学習カード・単元テスト・技能試験	学習カード・単元テスト	学習カード・学習ノート・授業内の取り組み	
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り） A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満 評定への総括：神奈川県のやり方に従う			
◆定期テストの範囲について：授業の進捗度を考慮し範囲を設定します。単元ごとに単元テストがあります。 ◆課題・提出物等について：定期試験後に学習ノートを集めて課題を見ます。また、授業後に学習カードを提出します。 ◆学習上の留意点：教科の特性上、グラウンド、体育館での活動が中心となります。服装など忘れ物がないようにしましょう。また、それぞれに記名をしっかりと行って下さい。授業によって変わりますが、必要なものはあらかじめ連絡します。基本的に（ビジュアル<実技本>、学習カード、ファイル、筆記用具、クローム）は必ず持ってくるようにする）			

年間計画 2024（令和6）年度 第1学年 保健体育科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	新体力テスト 集団行動 体づくり運動	○授業オリエンテーション (体) 体ほぐし（新体力テスト含む）や体力の意義と運動効果について勉強します。
	5	保健(3) 陸上競技 体育理論(2)	(保) 健康な生活と疾病の予防 (陸) 短距離走・リレーを行います。 (体理) 運動やスポーツの必要性和楽しさ・多様な関わり方
	6	体育理論(1) 器械運動	(体理) 運動やスポーツの多様な楽しみ方 (器) マット運動を行い、技の連続性や構成を見ます。
	7	水泳 保健(3)	(水) クロール・平泳ぎの泳法について基本的動作を確認し、フォーム、タイムを計測します。 (保) 健康な生活と疾病の予防
	8 9	創作ダンス	(ダ) 創作ダンスを行います。（多様なテーマから表したいイメージを捉える） (保) 心身の機能の発達と心の健康
後期	10	陸上競技・長距離走 バドミントンボール	(陸) 男子1500m・女子1000mと8分間走です。 フォームチェック・タイム計測を行います。 (バ) 安定したショットを打てるようにします。
	11 12	保健(3) 柔道 サッカー	(保) 心身の機能の発達と心の健康 (柔) 日本の伝統的なスポーツを礼法から基本動作を学習します。 (サ) →ドリブルやパスの正確性、攻撃を重視した仲間との連携を見ます。
	1	バスケットボール 保健(2)	(バ) ドリブルやパスの正確性、攻撃を重視した仲間との連携を見ます。 (保) 心身の機能の発達と心の健康
	2	保健(4) バスケットボール バレーボール	(保) 心身の機能の発達と心の健康 (バ) →ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防を学びます。
	3	バレーボール	(バ) ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって、空いた場所をめぐる攻防を学びます。

※保健・・・計15時間、体育理論3時間

※進度や学年の状況によって予定が前後する可能性があります。

教科名 技術・家庭科	学年 1 学年	担当者 嘉山 英明	使用教材 家庭科学習ノート 製作に必要な材料
教科の目指す生徒像 一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と sh 会の成長につながる新たな価値を生み出していくことを目指していく。			
学習到達目標 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通じて、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。			
主な学習内容 (指導計画参照)			
授業の進め方			
観点別評価			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
・主な材料や加工法についての科学的な原理・法則の理解 ・材料の製造方法や成型方法などの基礎的な技術の仕組みの理解 ・製作に必要な図を描き、安全・適切な製作や検査・点検ができる技能 ・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた材料と加工の技術の概念の理解	・材料と加工の技術に込められた工夫を読み取る力 ・材料と加工の技術の見方・考え方の気づき ・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決できる力 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術の評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりする力	・進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする態度 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする態度 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造していこうとする態度	
・衣服の選択と着用、計画的な活用と手入れについての基礎的な理解と技能 ・布を用いた製作についての基礎的な理解と技能 ・家族の生活と住空間との関わり家族の安全を考えた住空間の整え方についての基礎的な理解	・家族・家庭や地域における生活の中から衣生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力 ・家族・家庭や地域における生活の中から衣生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力	・衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 ・衣生活における日本の生活文化を継承しようとする態度 ・住生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 ・住生活における日本の生活文化を継承しようとする態度	
※ 評価については、内容について基準を設けて判断します。 ※ 実験レポートなどは、観点別に採点します。			
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り） A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満			
評定への総括：神奈川県的方式に従う			
◆課題・提出物等について なるべく授業内で完結するものにする。 ◆夏期休業中の課題について 学習状況により判断する ◆学習上の留意点 けがをしない、させないような指導を徹底する 支援が必要な生徒には適宜声掛けをする			

年間計画 令和6年度 第1学年 教科：技術・家庭科

学期	月	技 術 分 野	家 庭 分 野
前	4	ガイダンス 製作（簡単な材料加工） 基本的な作業や工具の扱い方について	B 衣食住の生活 （４） 衣服の選択と手入れ
	5		（ア）・衣服と社会生活の関わり、目的に応じた着用や個性を生かす着用、衣服の選択
	6	生活や社会を支える材料と加工の技術 ・材料や加工の特性の原理・法則と基礎的な技術	・衣服の計画的な活用、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ
	7	の仕組みについて ・技術に込められた問題解決の工夫	（イ）日常着の選択や手入れ
	9	（１） 材料と加工の技術による問題解決 ・製作に必要な図、安全、適切な製作、検査・点検など	（５） 生活を豊かにするための布を用いた製作 ・製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取り扱い
	10	・問題の発見と課題の設定、成形の方法などの構想と設計の具体化、製作の過程や結果の評価、改善及び修正	・生活を豊かにするための資源や環境に配慮した布を用いた物の製作計画及び製作の工夫
後	11		
	12		
	1	（２） 社会の発展と材料と加工の技術 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえた技術の概念	（６） 住居の機能と安全な住まい方 （ア）家族の生活と住空間との関わり、住居の基本的な機能
	2	・技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用	（イ）家族の安全を考えた住空間の整え方 ・家族の安全を考えた住空間の整え方の工夫
期	3		

※進度によって予定が前後する可能性があります。

教科名 英語	学年 1 年	担当者 平元 遼一 原 真美 高橋 圭佑	使用教材 New Crown 1 とにかく基礎 英単語1800
教科の目指す生徒像 積極的に他者と関わり、自ら学ぶ態度を養うことで、自己の成長につなげていくことができる生徒。			
学習到達目標 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深める。品詞・語順を理解し、自力で簡単な英文を組み立てられるようになり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ・聞くこと：先生の指示や音声案内を聞き、その指示に従って行動できる。 インタビューを聞いて、要点を聞き取ることができる。 ・話すこと：自己紹介や大切なもの、得意なことについて、発表や短い会話（Q＆Aを続けること）ができる。 ・読むこと：簡単なメールを読んで、その要点を書いたり概要をまとめたりできる。 ・書くこと：他者紹介（友達・家族（親戚）・好きな有名人・学校の先生など）を書いたり、もの紹介（自分の好きなもの）について簡単な英文を書いたりできる。			
主な学習内容 あいさつ、アルファベット、be 動詞(am, is, are)、形容詞、一般動詞、代名詞、複数形、疑問詞（who、what、why、where、when、how、 / whose、which）、命令形、三人称単数現在形、助動詞（can）、現在進行形、一般動詞の過去形、be 動詞の過去形、過去進行形、未来形（will、be going to）			
授業の進め方 ・年間を通じて学級全体授業で行います。 ・〇月の歌（英語の歌）。月に1曲、生徒にリクエスト曲を募り、歌う練習をし、英語やその文化に慣れ親しむ。 ・単元学習の最後には、まとめとして表現活動と、学習到達度を把握するための単元テストを行います。 ・ノート作りや単語練習は予習・復習として家庭で積極的に取り組みましょう。 ・週に2～3回、IEA（国際教育指導助手）の先生が授業に来てくれます。積極的に生きた英語に触れましょう。			
観点別評価			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	
単元テスト 各種表現活動 定期試験 等	単元テスト 各種表現活動 定期試験 等	提出物 各種表現活動 等	
観点別評価 総括基準（沼間中学校の基準通り） A° 90%以上 A 80%以上 B 50%以上 C° 25%以上 C 25%未満 評定への総括：神奈川県の手引きに従う 前期・後期の配分：前期 5・後期 5			
◆授業を受ける上での心構え ・授業には、教科書、ノート、ファイル、とにかく基礎、Chromebook の5点セットを必ず持ってきてましょう。 ・ペアワークやグループワークでは、ペアやグループの仲間と意欲的にコミュニケーションをとりながら取り組みましょう。 ・気づいたことを質問したり、Dictaion Sheet に書いたり、間違いを恐れず積極的に取り組みましょう。 ・英単語や英文法はノートを用いて練習したり、とにかく基礎など1回解いて〇付け、2回目解いて提出など、自ら学習を進め身に付けていきましょう。			
◆長期休業中の課題について ・既習内容単語や文法の課題を出します。休み明けにテストを行います。			
◆授業サポート ・学習相談はいつでもお受けします。授業の前後はもちろんのこと、補習対応もします。			

年間計画 2024（令和6）年度 第1学年 英語科

学期	月	単元名	主な学習活動
前期	4	Starter 1～3	
		Lesson1 About me	be 動詞（am、are）や一般動詞を理解し、使う。（自己紹介）
	5	GET Plus①	どんな食べ物が好きかたずねる。
		Lesson2 English Camp	助動詞の can を理解し、使う。
		GET Plus②	数をたずねたり、言ったりする。
	6	Lesson3 Our New Friend	be 動詞（is）や命令文を理解し、使う。
		Listen① 商品の説明 Talk① ねえ、聞いて！ Reading for Information①	聞き手が必要な情報を聞き取る。 会話を始める・あいづちを打つ。 文具店のチラシを読み取る。
	7	Project① 理想のロボットを発表しよう	理想のロボットについて発表をする。
		Lesson4 My Family, My Hometown	3人称単数現在形を理解し、使う。（他者紹介）
	8	Listen② 競技会場のアウリス Talk② またあとでね GET Plus③	話し手が伝えたいことを聞き取る。 会話を終える・あいづちを打つ。 どちらがほしいかたずねる。
後期	9	Lesson5 School Life in the USA	現在進行形を理解し、使う。
		Listen③ 映画の紹介 Talk③ 青いTシャツはいかがですか GET Plus④	話の全体的な内容を聞き取る。（リスニング・メモ） 提案する・好みを伝える。 持ち主をたずねる。
	10	Lesson6 Discover Japan	一般動詞の過去形を理解し、使う。
		Listen④ ボイスメッセージ Talk④ ABC ケーキはどこですか Reading for Information②	聞き手が必要な情報を聞き取る。 道順をたずねたり、説明する。 観光マップを読み取る。
		Project② 英語のタウンガイドを作ろう	英語のタウンガイドを作る。（もの紹介）
	11	Lesson7 Wheelchair Basketball	be 動詞の過去形や過去進行形を理解し、使う。
		Listen⑤ インタビュー Talk⑤ どんな漫画が好きなの？ GET Plus⑤	話し手が伝えたいことを聞き取る。 質問する・情報をつけ加える。 状態や気持ちを表すことばを理解し、使う
	12	Lesson8 Green Festival	未来形（will、be going to）を理解し、使う
		Listen⑥ 天気予報 Talk⑥ もう一度言って GET Plus⑥	聞き手が必要な情報を聞き取る。 描写する・聞き直す。 依頼したり、応じたりする。
	1	Project③ 大切なものを紹介しよう	絵や写真を見せながら、あなたにとって大切なものを紹介する。
		Reading for Fun Alice and Humpty Dumpty	物語を楽しむ。

